



学校だより

調布市立調和小学校
校長 横山 公一
令和4年6月30日

HP: <http://www.chofu-schools.jp/chowa-sho>

Mail: chowa-sho@chofu-schools.jp

人を見たら泥棒と思・・・わない

校長 横山 公一

「こどもに注意をしたら、110番通報されてしまいましたよ。」

以前お付き合いのあった、ある町会長さんがそう言って笑いました。公園内に据えられている藤棚に低学年の子供が乗って遊んでいたのも、危ないから降りなさいと声をかけたのだそうです。会長さんは年を重ねられたご婦人で、さらに、丁寧な言葉を遣われる方でしたから、大柄な男性がいきなりしかりつけるのとは、事情が異なります。ところが、その子供はおもむろに携帯を出し、藤棚の上から110番通報して「公園で不審者から声をかけられている。助けてください。」と、訴えたのだそうです。*調和の話ではありません。

児童が犯罪やそれに類するような危険に遭遇する可能性が否定できない世の中です。市からのメール等、どこそで不審者がでた、子供が声をかけられたなどと、怖い情報が重なり、大人も疑心暗鬼にならざるを得ない状況ですね。危険回避のための情報の共有は必要ですし、日頃から子供たちには「知らない人にはついていかない」だとか「話しかけられても、その場を去りなさい」などと、自己防衛の視点からの指導も必要不可欠となっています。

ただそのような不安の中においても、子供を育てる学校や家庭で必要なのは、「人はいい人のほうが圧倒的に多い。悪さをするのはほんの一部だ。」という、人は信じられるという方向の考え方やメッセージの発信の仕方なのではないかと思います。

人を見たら泥棒と思えという警句は、無防備でいてはならない、常に用心をしなさいという意味でつかわれます。それはそれで正しい。ただし、同時に、思いやりやまごころ、互いを認め合える、といった豊かな心をもつ子供を育てたいと考える我々の根底には、人相互の信頼という目には見えないけれど確かにある、温かさが必要だと思うのです。

6年生の日光移動教室 6月19日(日)～21日(火)

予定通り、春の移動教室がかないました。昨年度のハケ岳では1泊2日の行程の時ですら、学年全員が意欲を高め大きな成長を遂げて帰ってきたことからして、今年はさらに彼らの成長への期待感は大きかったです。自律し、協力しあって生活できたでしょうか。

初日朝の天候が現地でも同じで、予定されていた活動はすべてやりきることができました。また、この3日間で大切にしたい、「全力・絆・礼儀」を全員で意識し、実現に向けての課題を見つけ、全員でその解決に向けて努力できたことは、素晴らしかったです。

彼らの成長のキーは「自分で」であり、学校においてはそれに加えて「仲間と」が、重要なものになります。空も子供たちの姿もさわやかな移動教室でした。ご協力をありがとうございました。

